

ソーシャルキャピタルで地域の良さを再発見！

ソーシャルキャピタルとは？

- ・他者に対して抱く「信頼」
- ・「お互い様、たすけあいの精神」
- ・人や組織の間の「ネットワーク、絆」



社会参加、社会的サポート

一言でいえば「社会的な結束」「ご近所の底力」

ソーシャルキャピタルが良いと何がよい？

- ・経済活動が円滑になる
- ・地域コミュニティの醸成
- ・高生産性、高成長率
- ・健康状態が良好になる
- ・犯罪抑止効果がある
- ・教育水準が良くなる etc...

**ソーシャルキャピタルが高い地域では、
高齢者が長寿で生き生きと暮らせる！**

医学研究実習

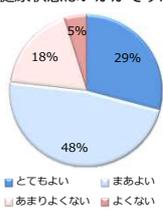
平成25年度より毎年、新潟大学医学部医学科4年生の希望者が魚沼市の各集落に赴いて、各戸訪問によるアンケート調査を実施。

学生は1か月間市内に住み込み。高齢者を対象として、食生活、運動習慣、通院・買い物などの状況など直接聴き取りを行った。3年間で**365名**の高齢者より回答していただいた。



調査結果と解析

問1-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか



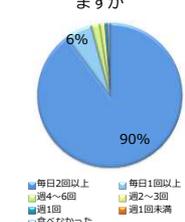
問1-5 ご自身の歯は何本残っていますか



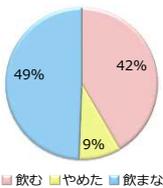
問2-4 肉や魚をどのくらいの頻度で食べていますか



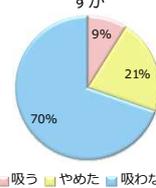
問2-5 野菜や果物をどのくらいの頻度で食べていますか



問2-6 お酒を飲みますか



問2-7 タバコは吸いますか



問9-1. あなたの地域の人々は、一般的に信用できますか



問9-3. 現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか



成果発表と報告

学内の発表会、県内の各種研究会、日本プライマリケア連合学会学術集会にて学生が調査の成果を報告

➡ **調査結果をもとに他の学生や教員と議論し、地域を「診る」重要性を学び、リサーチマインドを深めた**

調査終了後再び地域に赴き、学生が主体となって調査地区の住民に対して結果報告会を開催

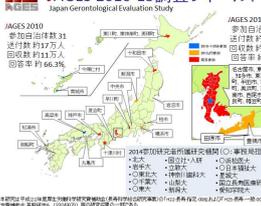
➡ **調査結果を住民や行政に還元し、介護予防・健康づくり政策に活用**



JAGES「健康とくらしの調査」(平成27年2月実施)

地域に住む高齢者のソーシャルキャピタルを測定するために、JAGES(日本老年学的評価研究)プロジェクトおよび行政と連携し、十日町市の高齢者15,730名に対して郵送によるアンケート調査を実施。12,620名から調査票を回収した。

JAGES 2010-13調査フィールド



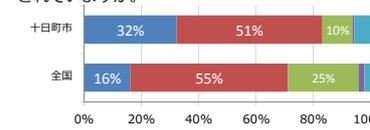
調査項目



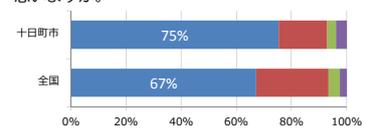
全国30自治体、約14万人が参加する大規模研究プロジェクト

調査結果

Q.地域内のご近所の方とどのようなおつきあいをされていますか。



Q.あなたの地域の人々は、一般的に信用できますか。



結果の解析と活用

得られた結果は「見える化」して行政に示せるように進めており、これらを用いることで今後の施策に生かせる体制が構築できる。

